

第 74 回定期総会

松本剛明 総務大臣祝辞

「全国町村議会議長会第 74 回定期総会」のご開催、誠にありがとうございます。

皆様方には、日頃より、地方自治発展のためご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。

また、先ほど栄えある表彰を受けられた皆様におかれましては、長年にわたるご活躍とご功績に敬意を表するとともに、心よりお喜び申し上げます。

総務省といたしましても、現場の声を踏まえて国民の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、今後も必要な施策をひとつひとつ着実に進めてまいります。

まず、岸田内閣としても活力ある地域づくりは大変大切だとの認識から「デジタル田園都市国家構想」を最重要施策に位置づけ、総務省として、その実現に向け、5Gネットワークの都市・地方での一体的整備などに取り組むとともに、地域課題を解決するためのデジタル実装を進めてまいります。

重要な役割を担っていただいている地方議会の在り方については、昨年末に地方制度調査会で決定された答申を踏まえ、法制上の措置を含め必要な措置を講じてまいります。

また、勤労者の立候補の環境整備につきましては、先般、南雲会長と共に、経済団体に対し、各企業の自主的な取組として、立候補に伴う休暇制度の創設や議員との副業・兼業を可能とさせていただくよう要請いたしました。

引き続き、経済界とも連携して取組を進めてまいります。

議員の請負禁止の緩和等を行う地方自治法改正についても、その施行

に向け適切に対応してまいります。

地方公共団体のデジタル人材の確保・育成については、中核を担う職員の育成に要する経費等について、地方財政措置を創設するほか、関係機関の研修の充実など取組を強化してまいります。

マイナンバーカードの普及促進については、マイナポイント事業の着実な実施に加えて、自治体における交付体制の確保、郵便局を活用した申請の推進、自治体マイナポイントの全国展開などに取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症対策については、総務大臣を本部長とする地方連携推進本部の下、全ての都道府県、政令市との連絡体制も活用しながら、丁寧に現場の声を聞くことにより、地方公共団体との連携を推進し、引き続きオミクロン株対応ワクチン接種を円滑に実施しつつ、予定される感染症法分類の移行に備えて、現場である地方のサポートに努めてまいります。

令和5年度地方財政計画については、地域のデジタル化や脱炭素化の推進などの課題に対応し、行政サービスを安定的に供できるよう、一般財源総額、地方交付税総額のいずれも、前年度を上回る額を確保するとともに、臨時財政対策債の発行額を前年度から抑制し、残高を縮減しております。

令和5年度税制改正については、自動車税等の環境性能割の税率区分を令和5年末まで据え置くこととした一方、今後3年間の措置として、税率区分を段階的に引き上げるなどの措置を講ずることとしました。

消防については、緊急消防援助隊や常備消防の充実強化などに取り組むとともに、消防団員の確保等、地域防災力の向上を図ります。

また、地方への人の流れの創出、拡大に向け、ローカルスタートアップ支

援制度や、地域おこし協力隊等の取組を推進します。

今後も現場を重視しながら、活力ある地域づくり等に向けて全力で取り組んでまいります。

結びに、全国町村議会議長会の益々のご発展とご臨席の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

令和 5 年 2 月 8 日

総務大臣 松本 剛明